

「コミュニケーション能力を育む」

「コミュニケーション」の重要性を疑う人は少ないのではないのでしょうか。

人が自分の存在を確かめるには、他者とのコミュニケーションが不可欠です。

企業に入れば、同僚や上司や顧客とのコミュニケーションは欠かせないどころか

それこそが「飯のタネ」であったりします。

日本人同士は、「あうん」の呼吸でコミュニケーションできるかもしれませんが

そこに異文化や異言語の人が入ってきたら

やはりきちんと説明し合うコミュニケーションが求められるようになるでしょう。

一方で現在、「コミュニケーション能力」の重要性は

もっと大きく叫ばれているように感じます。

けれども、コミュニケーション能力とは何のことでしょうか？

コミュニケーション能力の意味は、社会全体で共通しているのでしょうか？

そのような疑問を抱えながらも

今号のタイトルを「コミュニケーション能力を育む」としたのは理由があります。

ひとつは、学校教育に「コミュニケーションを取り込んでいくにあたっては

「能力」を涵養するという姿勢が必要だと思われるためです。



いじめの傍観者を仲裁者に変え

生徒同士で支え合う力をつける

ピア・サポート・トレーニング

静岡県立 浜松江之島高校 >> p.16

全校を挙げたソーシャルスキル教育 (SST)。

教師の働きかけも変化して

日頃の授業態度や生活にも浸透する

長野県立 臼田高校 >> p.18

理系男子の苦手な言語分野。

「ランゲージアワー」で言葉の運用能力を鍛える

東京・私立 芝浦工業大学中学高校 >> p.20

先生も生徒も成長が実感できる

社会人インタビューを核とした

特色科目「コミュニケーション」

神奈川県立 横浜清陵総合高校 >> p.22

プロジェクト・アドベンチャーで

チームづくりを体感して

ドラマケーションで表現を学ぶ

東京都立 町田総合高校 >> p.24

生徒全員が英語による

ディベートにチャレンジするプログラムを実践

茨城県立 竹園高校 >> p.26

多読・多聴重視の英語教育、プレゼン科目など

コミュニケーション教育を徹底

東京都立 大田桜台高校 >> p.28

ワークシートとグループ学習を用いた

授業実践を積み重ね

全教科で「言語活動」の定着を目指す

群馬県立 太田工業高校 >> p.30

生徒が「先生」となる地域&異世代交流で

人間関係形成力を伸ばす

三重県立 久居農林高校 >> p.32

初対面の相手にプレゼンする。

話し合いから建設的妥協点を探る。

社会に通用する新しいICT力の育成

大阪・私立 羽衣学園中学・高校 >> p.34

コミュニケーションあふれる社会は、幸福に違いありません。
学校からそれをスタートしていただければと願っています。

言語活動に取り組み全国の高校をレポートします。

2章は、各々のねらいとスタイルでコミュニケーション教育や

1章は、各界の専門家がコミュニケーションの本質に迫り
また、実践を先行している高校の先生方が、これから進むべき方向を示してください。

また、実践を先行している高校の先生方が、これから進むべき方向を示してください。

1章は、各界の専門家がコミュニケーションの本質に迫り

また、実践を先行している高校の先生方が、これから進むべき方向を示してください。

また、実践を先行している高校の先生方が、これから進むべき方向を示してください。

また、実践を先行している高校の先生方が、これから進むべき方向を示してください。

また、実践を先行している高校の先生方が、これから進むべき方向を示してください。

また、実践を先行している高校の先生方が、これから進むべき方向を示してください。

